

1、はじめに

「障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づく相談支援専門員が、障がい者の地域生活を支援する目的で障がい者ケアマネジメントを基本とした中立・公平な相談支援活動を実施し、障がい者の自立した生活を支援します。

2、基本方針

利用者さんの意思・及び人格を尊重し、利用者さんの立場に立った適切かつ円滑な相談支援を提供します。



3、活動内容

①サービス利用計画の制作

利用者さん・ご家族・市町村等との面接により、利用者さん及びご家族の置かれている状況・利用者さんの希望する生活・解決すべき課題等を把握し、提供される福祉サービスの種類・内容・量を組み合わせてサービス利用計画を作成します。

②サービス利用作成後の便宜の供与

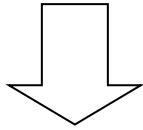
サービス利用計画に基づき、関係者・各事業所とのケア会議をはじめ計画の目標に添ったサービスが提供されるように調整します。

③サービス利用計画の変更

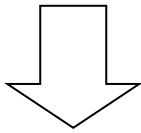
利用者さんが希望された場合、或いは事業所が必要と判断した場合を含め、計画に記載されている期間で計画の見直し変更を双方の合意に基づき行います。

基本的な相談支援の流れ

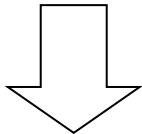
① 初期面接
今の生活のことや困っていることの相談



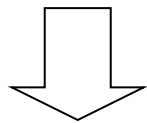
② 同意書
ケアマネジメントを始める説明と確認



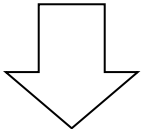
③ アセスメント
今の生活について、困っていること、こうありたいことの聞き取り調査



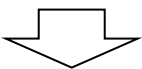
④ ケアプラン
これからの計画を立てる



⑤ これからの生活について話し合う（ケア会議）



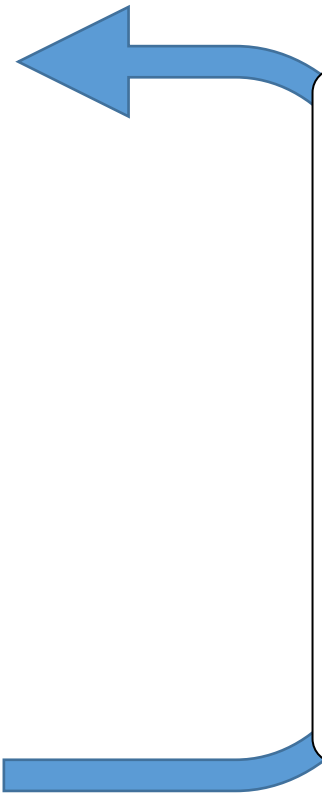
⑥ いろいろなサービスなどを利用する



⑦ モニタリング
サービスの使い勝手を検証するケア会議



⑧ 満足がいかなかったり
状況が変わった場合の再計画



※ ご不明な点等ございましたら、相談支援専門員にお聞き下さい。